

第6学年1組 道徳学習指導案

平成23年 6月22日(水) 第5校時

在籍児童数 11名

1 主題名 謙虚になって 2ー(4) 謙虚・寛容

2 資料名 友とのトラブル (出典 埼玉県道徳教材資料集「彩の国の道徳」)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本主題は、高学年の内容項目2ー(4)「謙虚な心もち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にする。」ことをねらいとしている。この内容項目は中学年の相手の気持ちを理解し温かい思いやりの心を育てることから、相手の意見を素直に聞き、なぜそのような意見や立場をとるのかを、相手の立場に立って考える態度を育てるへと発展してきている。これは、高学年になるにつれて広がりや深まりのある人間関係をよりよく築いていくために求められてくるものである。

人に対して寛容であるということは、自分を謙虚に見て、他人の過ちを許す態度や相手から学ぶような広い心をもつことが大切である。6学年ともなると、互いのものの見方、考え方を意識して生活できるようになってきているが、自分の立場を守るため、つい他人の失敗や過ちを一方的に非難してしまうこともみられる。

そこで、自分と異なった意見や立場、相手の過ちなどに対して、広い心で受け止め、謙虚な気持ちで相手を受け入れられる態度を育てたいと考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態について

(3) 資料について

本資料は携帯電話に振り回され、自分の都合だけで行動してしまう主人公の姿を通して相手の立場に立って考えることの大切さを学んでいくものである。本資料のような内容は実生活でも起こりうることであり、児童にとっては親近感を覚える資料である。

主人公の美奈は、念願叶って父から携帯電話を買ってもらった。嬉しくて相手の都合も聞かずメールで誘う。亜由美はすぐに来てくれたが、唯は1時間も遅れてきた。唯が遅れた理由を言っても一方的に「今日はもう遊ぶの終わりにしよう」と言って怒って帰ってしまう。ここでは主人公が冷静さを失いかけて、感情的になっている気持ちに共感させたい。自分の家に帰りすっきりしない気持ちでいるところに、亜由美がやって来る。亜由美に「美奈、さっきのことだけど・・・」と言われた場面では、主人公が自分のことだけ考え、唯を許せないで謝れない気持ちなのか、唯の都合も考えずに行動してしまったことに気づき、唯を許し、謝る気持ちになのかを十分話し合わせ、葛藤させたい。そのとき、根拠となる理由をきちんと話させたい。そして、亜由美の話を聞いた後で、美奈が「わたし、唯の家へ行って来る。」と言った場面では主人公が父親の言葉や亜由美の話により、自己の内面に目を向けている美奈の気持ちを考えさせ、謙虚さや広い心、相手の立場に立って考えようとする心を育てていきたい。

4 研究主題とのかかわり

(研究主題)

「人・心・自分を輝かせる新二つ子」

～笑顔いっぱい・心あったか ともに伸びゆく新二つ子～

本校の研究主題を具現化するために、以下のような手だてを考えた。

- ①本時のねらいにかかわる内容(児童の身近な話題)を導入で提示することで、話しやすい雰囲気をつくるとともに、道徳的価値について児童に授業への関心が高まるようにする。
- ②場面絵やセンテンスカードを提示しながら、登場人物の状況を説明していくようにする。そのとき、絵から分かる様子を自由に想像させる。また、児童には、資料文を持たせしないで、テレビの画面に場面絵を映しながら範読を聞かせる。文字言語で国語的にとらえるのではなく、音声言語や場面絵から、資料内容を今までの生活体験から自由に想像させたい。
- ③小集団の話合いを取り入れ、全員が自分の考えをもち、話し合いに参加できるようにする。また、何故そう考えたのかの理由をはっきりもたせ、主人公に対する感じ方や考え方を深めさせる。そして、その中で、お互いの考えのよさを認め合う。

5 人権教育上のねらい

○友だちや集団とのかかわりを積極的に持とうとする。 [人間関係づくり]

6 本時の学習 1時間扱い

(1) 本時のねらい

○相手の立場に立ち、謙虚な心で人の気持ちや考えを受け入れようとする態度を育てる。

(2) 人権教育上の視点

○一人一人の考え方や表現を大切に、よさを認め合いながら話し合い、友だちや集団としてのかかわりを持とうとする心情を育てる。 (態度)

(3) 教育に関する3つの達成目標からの視点

○相手の気持ちを考え、やさしい言葉づかいができる。

○教師の話や友だちの発表をしっかりと聞き、自分の考えを伝えることができる。

[規律ある態度]

(4) 本時の展開

◎人権教育上の配慮

段階	学習活動 (主な発問)	・予想される児童の反応	○指導上の留意 ☆評価	備
導 入	1 場面の事例を考える。 ○自分の消しゴムを黙って使われたらどう思いますか。 ○今日は、こんな(「広い心・せまい心」)の話です。	・勝手に使われたら、いやだな。 ・急いでいて言うのを忘れたんだろうから、構わない。	○「もし～だったら」という特定場面を設定し、「嫌だ・構わない」理由を判断させる。 ○ねらいとする道徳的価値について問題意識をもたせる。	3
と ら え る	2 資料について聞く ・登場人物、条件、状況を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> [登場人物] ・美奈(主人公)・父 ・亜由美、唯(美奈の仲良しの友達) [条件、状況] ・主人公の美奈は、6年生になって初めて携帯電話を買ってもらった。 ・父との約束「大事な話は直接会って話す。」 ・メールで友達を誘う。 </div> ・教師の話聞き、主人公の気持ちをつかむ。 ○主人公美奈さんの気持ちを考えながら聞きましょう。		○場面絵や設定カードを提示しながら、登場人物の条件・状況を説明していく。その時、絵からわかる様子を自由に想像させ、資料の世界に入り込ませる。 ○主人公が念願叶って携帯電話を買ってもらい、うれしくて喜んでいる様子を捉えさせる ○資料を児童に持たせないで、テレビの画面に場面絵を映しながら、範読する。主人公がどのような心であるのかを児童に考えさせながら聞かせる。	5
開	3 「美奈」の気持ちを中心に話し合う。 (1) 1時間も遅れてきた唯に「もう遊ぶのは終わりにしよう。」と一方的に言った時の美奈の気持ちを考える。 ○1時間も遅れてきた唯に「もう遊ぶのは終わりにしよう」と一方的に言ったときの美奈さんはどんな気持ちでしょう。	・何で遅れたのよ? ・1時間も待っていたのに、どうして連絡くれいの。 ・やっと携帯電話を買ってもらってメールして誘ったに ・亜由美とズーと待っていたのに。 ・3人で仲良く遊ぶのすごく楽しみにしてたのに。唯のせいでだいなしだよ。 ・人を待たせておいて。	○児童には主人公になりきって(仮面をかぶって)、自己を語らせる。 ○携帯電話のために、冷静さを失いかげ感情的になっている主人公の気持ちに共感させる	9

○それでは代表の人に美奈さん役になってもらい、唯さんに一言いってもらいましょう。

(2) 亜由美に「美奈、さっきのことだけど・・・。」と言われた場面の美奈の揺れ動いている気持ちを考える。

○美奈さんは亜由美さんの顔を見て、何を考えたでしょう。

○2人組で話し合います。自分の美奈さんはどっちの考えかな？必ず理由を教えてください。

・学級全体での話し合いを行う。

○それでは、再現してもらいます。

○みんなの意見を聞いてまとめてみると、許せない理由許せる理由が出てきました。まだ、こんな理由でという考えはありますか。

(3) 亜由美の話聞いた後で「私唯の家へ行って」と言った時の美奈の気持

・1時間も待っていたのに、今すごく悲しいよ。
・唯のせいでイライラする。

謝れない

・1時間も待っていたのに連絡もくれない唯が悪い。
・遊ぶのをとても楽しみにしていたのだから。
・言い訳ばかりしたから。

謝る

・自分が勝手すぎたから。
・誰にでも失敗はあるから。
・唯の都合もわかってあげないといけないから。
・謝っているから。
・亜由美にも悪いことした。

・1時間も待っていたんだから。
・私は悪くない。でも、なんかもやもやしてすっきりしない。

・唯の気持ちを考えて無かった。
・誰でも急に用事ができるから。
・唯今頃どうしているだろう。

・会って謝りたい。
・父との約束も忘れていた。
・唯ごめんね。
・私が自分勝手に怒ってしまったんだ。

○意見が出た後で、役割演技をさせ、主人公の気持ちを再現させ、気持の共有化を図る。(唯役は教師が行う。)

☆冷静さを失いかけて感情的になっている美奈の気持ちに共感できたか。(発表・観察)

○「美奈さんは、亜由美さんの顔を見て、何を考えたでしょう。」という補助発問をし、「自分を責めにきたのかな」から「謝れない」行為、「言い過ぎたかな」から「謝る」という行為を引き出してからそれぞれの理由について考えさせる。

○行為を支える動機について話し合うことで、ねらいとする多様な価値観を出させる。

○小集団で話し合わせることで全員が自分の考えを持たせるようにさせたい。その時、どのような理由かを一人一人にもたせ、考えを深めさせる。

○学級全体での話し合いを通して練り上げていく。2人組での話し合いの様子を再現させながら、児童の意見をまとめ、板書していく。

「謝れないー謝れない」「謝れないー謝る」「謝るー謝る」の順に発表させる。聞いている他の児童は、自分の考えと同じか、違うのかをしっかりと聞かせる。

○多様な考え・感じ方をもとに児童の一人一人の考えを明確にし、考え方を一つにまとめない。

☆「謝る・謝れない」の理由について考え、話し合う中で、自分の価値観を明確にすることができたか。(話し合い・発表)

◎相手の立場や気持ちを考えることの大切さに気付かせる。

○相手の立場を考え行動していくことが、よりよい人間関係

		<p>ちを考える。 ○美奈は垂由美の話を聞いた後で「私唯の家へ行って来る」と言ったとき、どんな気持ちでしょうか。</p>	<p>・唯のことを考えてなかった</p>	<p>において、重要であることを押さえさせる。</p>	
	み つ め る	<p>4 今までの自分を振り返る。 ○わがままを言ってしまったことや許せなかった自分はありませんか。</p>	<p>・友達とけんかして、自分が悪かったのにすぐに謝れなかった。 ・失敗してしまった友達を許せなかった。 ・約束を破った友達を許せず怒ってしまった。</p>	<p>○資料から離れ、自分の在り方、生き方を見つめさせる。 ○ワークシートを使って書く活動を行うことで、ねらいとする価値について今までの自分の在り方、生き方をより深く見つめさせる。</p> <p>☆ 今までの自分の在り方を見つめ、広い心で生活していこうとする意欲が高まったか。(ワークシート)</p>	5
終 末	ま と め る	<p>5 教師の話を聞く ○先生の子どもの頃の話をしてします。</p>		<p>○ねらいに関わる教師の説話(失敗談)をし、価値を印象付ける。</p>	3

7 評価の観点

- 美奈の気持ちに共感しながら、気持ちを考えることができたか。(発表)
- 「謝る・謝れない」の理由を考え、話し合う中で、自分の考えを明確にすることができたか。(話し合い・発表)
- 今までの自分の在り方を見つめ、広い心で生活していこうとする意欲が高まったか。(ワークシート)

8 板書計画

主人公
美奈

美奈の絵
ニコニコ顔

友達のトラブル

- 初めて携帯電話を買ってもらった
- 父との約束
- 「大事な話は直接会って話す」
- メールで友達を誘う。

友達
垂由美・唯

今日はもう遊ぶのは終わりにしよう。

場面絵

「美奈、さっきのことだけど・・・。」

謝る

↓

謝れない

誰にでも失敗はあるから。

- 言い訳ばかりしているから。
- 一時間も待っていたんだから
- 遊ぶのをとても楽しみにしていたのに。
- 連絡くれない唯がわるい。

わたし、唯の家へ行ってくる

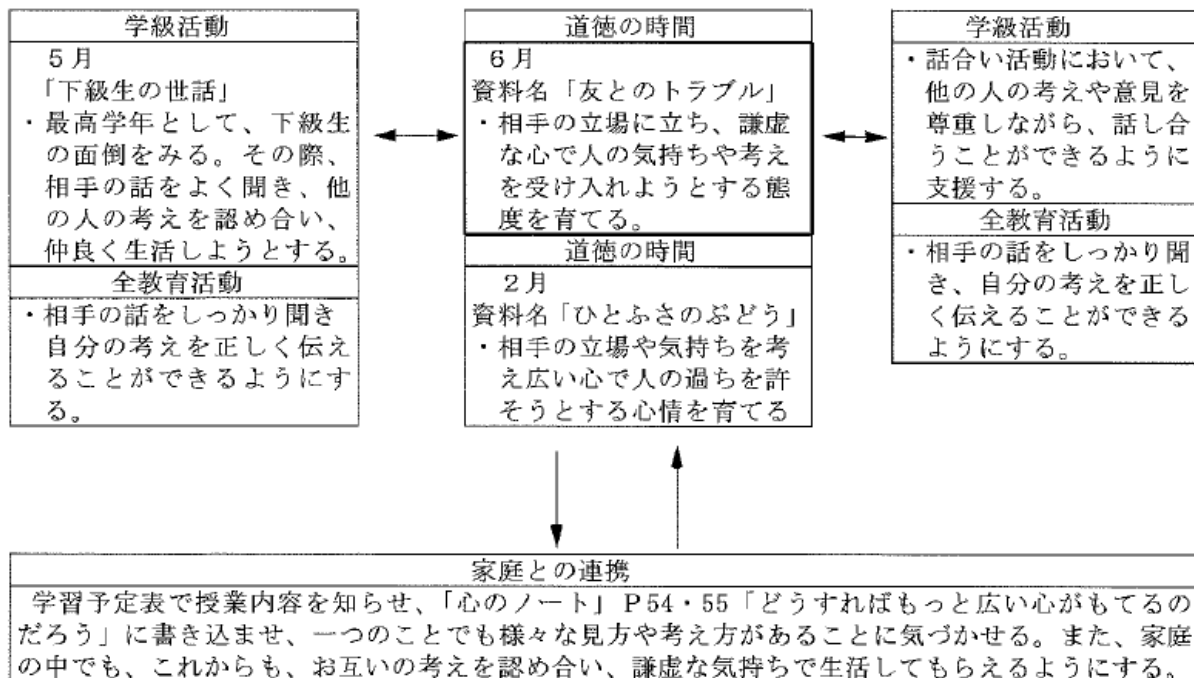
場面絵

- 会って誤りたい。
- わたしが自分勝手だった。
- 相手の気持ちを考えてなかった。
- 父との約束も忘れていた。

何で遅れたの？

- 何よ、人を待たせておいて。
- 一時間も待っていたのに、どうして連絡くれないの。

9 他の教育活動等との関連



【資料分析表】(6 学年)

ねらい 相手の立場に立ち、謙虚な心で人の気持ちや考えを受け入れようとする態度を育てる。(2-(4))

① 資料を読む。 資料名：友とのトラブル (出典 埼玉県道徳教材資料集 「彩の国の道徳」)

② 最も話し合いたい場面を特定する。

- ・ 家に来た亜由美に「美奈さっきのことだけど・・・。」と言われた場面

③ 話合いのきっかけを効果的に投げかけるための発問を考える。(多様な価値観が引き出される発問)

- ・ 「美奈さっきのことだけど・・・。」と話し始めた亜由美の顔を見たとき、美奈はどんなことを考えたか。

④ 話合いにおける児童生徒の反応を予想し、話合いを深めるための補助発問等を考える。

- ・ 「亜由美に責められるのかな」という反応から「謝れない」という行為、「言い過ぎたかな」という反応から「謝る」という行為を引き出してから、それぞれの動機(理由)を考えさせる。

「謝る」

- ・ 自分勝手だったから
- ・ 誰にでも失敗はあるから
- ・ 相手のことを考えてなかったから

「謝れない」

- ・ 1時間も待っていたんだから
- ・ 遊ぶのをとても楽しみにしていたから
- ・ 言い訳ばかりしているから

(③に対する児童生徒の反応と補助発問)

「謝る理由」を投げ返し、「謝れない」側を揺さぶる。「謝れない理由」を投げかけ、「謝る」側を揺さぶる。双方の理由を明確にした上で、一人一人がどの理由にしているのかを確認する。その上で、「謝る側」「謝れない側」両方の気持ちが分かるか確認する。分かるけれどできない人間の弱さを十分におさえる。

⑤ 話合いの前提となる場面・条件を明らかにし、

- ・ 美奈 6年生になって初めて携帯電話を買ってもらった。父との約束「大事な話は直接会って話す」亜由美にメールで遊びを誘う。唯にも来るように亜由美へのメールで頼む。
- ・ 亜由美 3ヶ月前に携帯電話を買ってもらおう。勉強しようとしたが美奈からの誘いを受ける。
- ・ 唯 お母さんから買い物頼まれる。夕方からはピアノがあった。メールに気付かず、1時間もたってから走ってきた。

⑥ ③を投げかける前の発問等を検討する。

- ・ 「今日はもう遊ぶのは終わりにしよう」と言って公園を出るときの美奈はどんな気持ちだったでしょう。

○役割演技を行うことで、相手の立場を考えられない美奈の気持ちに共感させる。

- ・ 美奈役を児童、唯役は教師が演じる。美奈は、強い口調で言う「何してたの？もう帰ろうかと思った」と遅く来たことを責める。「すぐに返信メールを送ればいいでしょ。」「もう遊ぶの終わり」と最後には一方的に帰る劇にすることを設定して始める。教師は、言い訳をしながら、美奈を怒らせるように演じる。

- ・ 演技の開始、終了は合図を出す。

○演技終了後、「今、美奈さん役の〇〇さんは、どんな気持ちでしょう。」と全体に問いかけ、感情を共有させる。(学級全員で劇を作り上げる)その後、美奈役の本人に訪ねる。「今、みんなが言ってくれたように、腹立たしかったから、家に戻っても何かすっきりしなかったんだよね。」とまとめ、③につなげる。